

市町村名	多良間村
------	------

令和元年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-②	観光関連施設整備事業(食堂・土産品施設)	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	3-(2)-エ
担当部課名	観光振興課	事業実施(予定)年度	平成27~令和元年度	観光客の受入体制の整備
			沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-(1)

事業内容  
観光誘客及び観光客の利便性の確保を図ると共に、災害時における住民及び観光客等の安全確保を図るため、多良間村地域振興拠点施設を整備する。

効果発現年度  
当年度 後年度(令和2年度)

実施方法  
直接実施 委託 補助 負担 その他( )

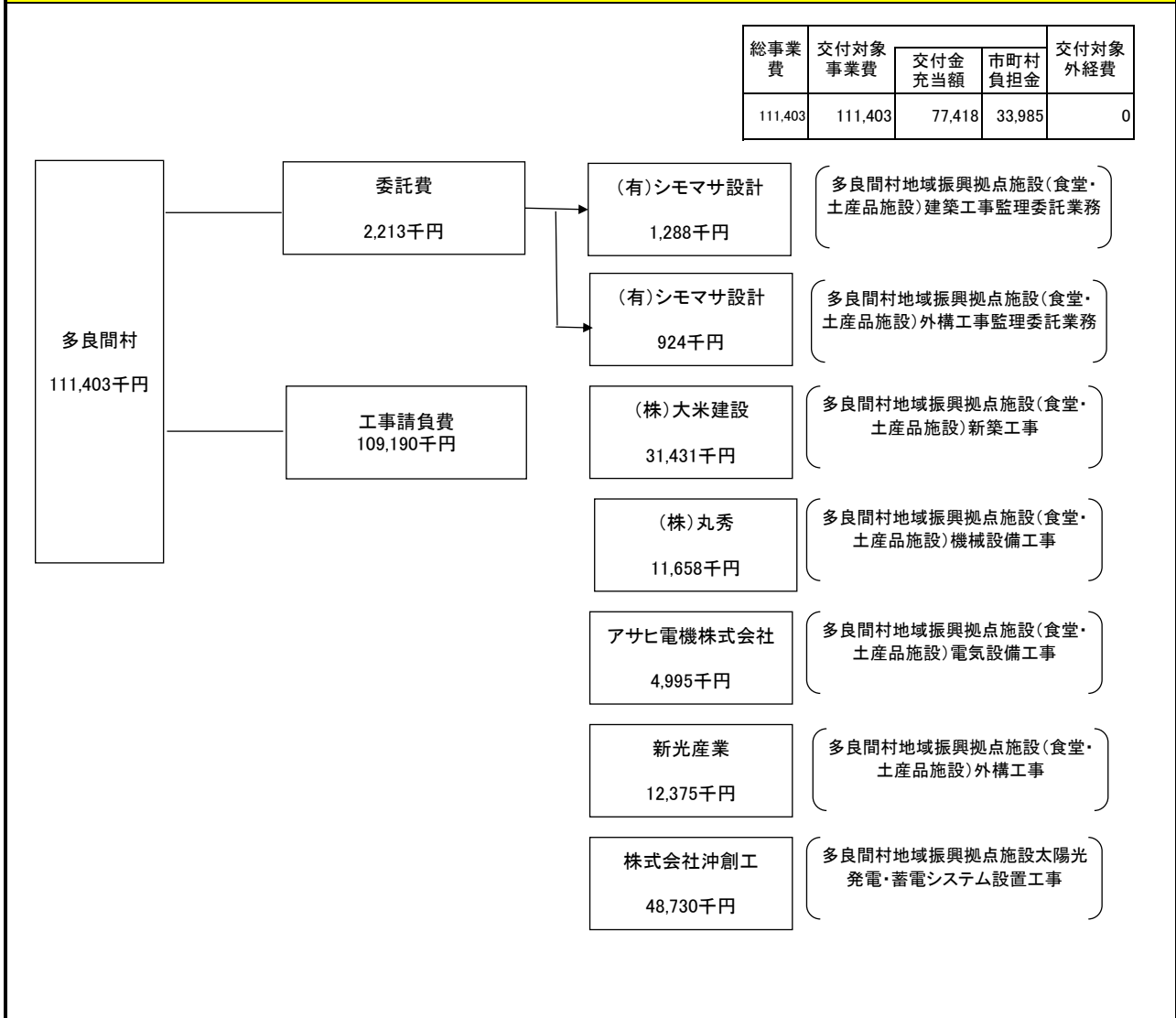
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	H28年度		H29年度		H29年度(繰越)		R1年度		R1年度(繰越)				
	予算の状況	(a)当初予算額	4,360	224,955	—	—	105,016	—	(b)予算現額	17,397	318,833	—	111,403
	(c)増減額(b-a)	13,037	93,878	—	—	6,387	—	(d)繰越額	0	0	318,833	—	29,238
	A.計(b+d)	17,397	318,833	318,833	318,833	111,403	29,238	B.執行済額	16,848	0	270,777	82,165	29,238
	うち交付金充当額	13,478	0	216,621	65,732	11,686		次年度繰越額	0	318,833	0	29,238	
	執行率(%) (B/A)	96.8%	0.0%	84.9%	73.8%	100.0%		予算の状況の説明	・太陽光発電システム設置事業の一部が完了せず、翌年度繰越となった。				

活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)	達成状況			
		R1年度	R2年度	年度	年度
施設工事・外構工事・太陽光発電の設置工事・施工監理の実施。	目標	( 事業完了 )	( )	( )	( )
	実績	太陽光発電システム設置工事繰越	事業完了		
	目標	( )	( )	( )	( )
	実績				
達成状況説明	令和1年度から、一部を繰り越して令和2年度に完了することができた。				

成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)	基準値(年度)	R1年度	R2年度	年度	目標値(年度)
		施設の整備工事の完了 駐車場の整備工事完了 太陽光発電の設置工事完了	目標	( )	( 事業完了 )	( )
	実績		一部繰越	完了		
【R2成果目標】 (地域振興施設機能) ・施設の利用者(延べ人数):34,650人/年以上 ・施設に来訪した観光客を対象にアンケートを実施し、当該施設によって多良間村観光の利便性が確保されたか(80%以上)を含め、アンケートにより施設のあり方を検証する。	目標	( )	( )	( )	( )	34,650人 80%
	【R2成果目標】 (一時避難所機能) ・施設を利用した避難訓練(1回/年)を実施し、安全・確実に避難できたか(80%以上)を訓練参加者に対するアンケート調査により確認するなどし、施設のあり方について検証する。	目標	( )	( )	( )	( )
進捗状況説明	令和1年度に施設の整備が完了する予定であったが、諸事情により工事が繰り越しとなりR2年度の完成となったため、成果目標の検証をR3年度に実施する。					

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	令和2年1月に発生した新型コロナウイルスの感染拡大により、人流が制限された状態は令和3年度に入っても続いている。アフターコロナ、ウィズコロナを想定して、施設の利用方法を工夫する必要がある。観光来島者のみならず、村内利用者を増やす取り組みが必要。	村内における『ミニ物産展』『青空市』など、村民から要望のあるイベントを実施して来店(利用)者を増やす。
	<b>今後の取り組み方針</b>	
村民が喜んで来場するよう、ミニイベントなどを開催しつつ、コロナ終息後は観光来場者を増やすための準備を進める。		

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託及び工事の事業者選定は指名競争入札を実施したので、妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模は適正であったと考える。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・使途については、精算段階において検査を実施しており、適正であった。